

# 1. 授業時間

【水戸地区・日立地区（昼間コース）・阿見地区】

講 時	開始時刻 ~ 終了時刻
第1講時	8:40 ~ 10:25
第2講時	10:35 ~ 12:20
（ 昼 休 み / 12:20 ~ 13:10 ）	
第3講時	13:10 ~ 14:55
第4講時	15:05 ~ 16:50
第5講時	17:00 ~ 18:45

【日立地区(フレックスコース)】

講 時	開始時刻 ~ 終了時刻
第5講時	17:00 ~ 18:45
第6講時	18:55 ~ 20:40

# 2. 授業科目の履修について

授業科目を履修する場合は、定められた期間内に教務情報ポータルシステムで履修登録してください。

# 3. 注意事項

開講授業科目一覧には、共通教育科目の今年度開講される授業科目（授業題目）が掲載されており、さらに履修の申告や登録に必要な情報（シラバスコード等）も記載されています。開講授業科目一覧で開講時期（前学期・後学期・クォーター）、曜日・講時、指定学部クラス等を確認し、シラバス（Web）で授業内容を確認の上、授業を選択してください。

なお、スチューデントサクセスセンターのホームページ (<http://www.lae.ibaraki.ac.jp/list/index.html>) 「授業科目一覧」の頁からもご覧いただけます。内容に変更があった場合にも、このページに変更案内が掲載されます。

1. 入学年度(年次)により**授業科目名**が異なることがあります。履修登録の際には気を付けてください。
2. 同一教員が同じ授業題目で、別の学期・クォーターや異なる時間帯に授業を開講していることがあります。自分の所属する学部が履修対象になっているか指定学部クラス等に注意してください。
3. **所属**の欄は、その授業科目の担当教員の所属学部等名が下記のとおり略して示されています。

・人文→人文社会科学部	・教育→教育学部	・理→理学部	・工→工学部	・農→農学部
・学環→地域未来共創学環	・SSC→スチューデントサクセスセンター	・遺→遺伝子実験施設		
・保セ→保健管理センター	・情報→情報戦略機構			
・iRIC→研究・産学官連携機構	・GLEC→地球・地域環境共創機構	・社セ→社会連携センター		
・非→非常勤講師	・他→上記以外の所属学部等又は複数の所属学部等が合同する場合			

4. **学期クォーター**の欄には、開講学期・クォーターが記載されています。略称等は下記のとおりです。

・通年 →通年開講科目	・前期 →前学期開講科目	・後期 →後学期開講科目
・1Q →第1クォーター開講科目	・2Q →第2クォーター開講科目	・3Q →第3クォーター開講科目
・4Q →第4クォーター開講科目	・各Q →年間を通して各クォーターで開講される科目	

5. **指定学部クラス等**の欄には、当該授業の履修対象学部・学科等が示されています。原則としてここ

に指定されている所属学部・学科等の学生以外は履修できません。略称等は下記のとおりです。

1. L⇒人文社会科学部、P⇒教育学部、S⇒理学部、T⇒工学部、A⇒農学部 R⇒地域未来共創学環
  2. 1年⇒1～4年次、2年⇒2～4年次、3年⇒3～4年次
- 以下、主だった例をあげます。
- ① 1年全学共通⇒ 1～4年次の全学部の学生
  - ② 1年LR⇒ 1～4年次の人文社会科学部と地域未来共創学環の学生
  - ③ 1年SA⇒ 1～4年次の理学部と農学部の学生
  - ④ 2年T⇒ 2～4年次の工学部の学生
  - ⑤ 3年PS⇒ 3～4年次の教育学部と理学部の学生

6. **実施形態**の欄には、当該授業の実施形態が示されています。略称等は下記のとおりです。なお、対面とオンラインが混在する科目や、実施形態が適宜変更される場合がありますので、シラバス及び各授業担当教員の案内に従ってください。

- ・対面 . . . . . キャンパス内の同一教室等において対面で実施する授業
- ・オンライン (リアルタイム) . . Teamsなどを利用して授業をリアルタイム配信する同時双方向型オンライン授業
- ・オンライン (オンデマンド) . . manabaなどにアップされた教材や指示書を学生が各自受講後、速やかに質問などを受け付けるオンデマンド型オンライン授業
- ・ハイフレックス型 . . 対面授業を実施しながら、Teamsなどを利用して当該対面授業をリアルタイム配信し、対面で受講する学生、オンラインで受講する学生をあらかじめ指定して実施する授業

7. **教室**の欄には、授業を行う教室名 (下記略号) 又は開講地区 (水戸地区/日立地区/阿見地区) が記されています。大学構内で遠隔授業を受ける場合は、記されている教室を使用することができます。

- |  |   |
|--|---|
| <p><b>【水戸地区】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共通〇〇…共通教育棟1号館及び2号館教室</li> <li>・人文〇〇…人文社会科学部棟教室・演習室</li> <li>・教育〇〇〇〇…教育学部棟教室 (A～D棟)</li> <li>・理〇〇〇…理学部棟教室・セミナー室</li> <li>・MM1/2…理学部S棟マルチメディア第1教室/第2教室</li> <li>・理学部英語学習室…理学部B棟1階英語学習室</li> </ul> <p><b>【日立地区】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工学部〇〇…日立キャンパスの教室等</li> </ul> | <p><b>【阿見地区】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農学部〇〇…阿見キャンパスの教室等</li> </ul> |
|--|---|

8. **ナンバリングコード**は、体系的な教育課程の編成のため、教育課程における当該授業の位置づけ等を示すもので、次の項目についてアルファベットや数字で表示します。ナンバリングコードは、シラバスにも記載されています。

各コードについて、授業科目「茨城学」を例に説明します。授業選択の際の参考にしてください。

(例) 「茨城学」のナンバリングコード

ナンバリングコード	KB	-	IBS	-	1	-	COE
説明 No.	①	-	②	-	③	-	④

**各コードの説明**

No.	コード名	説 明
①	部局 コード	<p>当該授業を実施する部局を示すコードです。基盤教育科目にはすべて「KB」(スチューデントサクセスセンター)が付されています。</p> <p>学部専門科目には、それぞれ、「L」(人文社会科学部)、「P」(教育学部)、「S」(理学部)、「T」(工学部)、「A」(農学部)、「R」(地域未来共創学環)が付されています。</p> <p>「茨城学」の部局コードは「KB」なので、この授業は「スチューデントサクセスセンター」が実施する授業であることがわかります。「KB」が付された授業に関する質問は、共通教育センターにお問い合わせください。</p>
②	学問分野	当該授業の学問分野(科目区分)を示すコードです。学問分野コードの一覧は巻末(付録)を参照

	コード	してください。興味のある学問分野があれば、教務情報ポータルシステムでキーワード検索してみるとよいでしょう。「茨城学」の学問分野コードは「IBS」（Ibaraki Studies）です。																																	
③	難易度 コード	各学問分野における当該授業の難易度を示すコードです。1～9の数字によって難易度を示します。																																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>コード</th> <th>難易度の基準</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">学部</td> <td>1</td> <td>1年次に修得が望まれる科目</td> <td>基盤教育科目は「1」が原則</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>2年次に修得が望まれる科目</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>3年次に修得が望まれる科目</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4年次に修得が望まれる科目</td> <td>卒業論文等「5」を除く</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>卒業論文、卒業研究、卒業制作等</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">大学院</td> <td>6</td> <td>修士課程及び博士前期課程： 大学院共通科目及び研究科共通科目</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>修士課程及び博士前期課程：専攻科目 専門職学位課程：専門科目及び実習科目</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>博士後期課程科目</td> <td></td> </tr> <tr> <td>共通</td> <td>9</td> <td>レベル分けが困難な科目</td> <td>海外留学、インターンシップ等</td> </tr> </tbody> </table>	コード	難易度の基準	備考	学部	1	1年次に修得が望まれる科目	基盤教育科目は「1」が原則	2	2年次に修得が望まれる科目		3	3年次に修得が望まれる科目		4	4年次に修得が望まれる科目	卒業論文等「5」を除く	5	卒業論文、卒業研究、卒業制作等		大学院	6	修士課程及び博士前期課程： 大学院共通科目及び研究科共通科目		7	修士課程及び博士前期課程：専攻科目 専門職学位課程：専門科目及び実習科目		8	博士後期課程科目		共通	9	レベル分けが困難な科目	海外留学、インターンシップ等
		コード	難易度の基準	備考																															
		学部	1	1年次に修得が望まれる科目	基盤教育科目は「1」が原則																														
			2	2年次に修得が望まれる科目																															
			3	3年次に修得が望まれる科目																															
			4	4年次に修得が望まれる科目	卒業論文等「5」を除く																														
			5	卒業論文、卒業研究、卒業制作等																															
		大学院	6	修士課程及び博士前期課程： 大学院共通科目及び研究科共通科目																															
			7	修士課程及び博士前期課程：専攻科目 専門職学位課程：専門科目及び実習科目																															
8	博士後期課程科目																																		
共通	9	レベル分けが困難な科目	海外留学、インターンシップ等																																
「茨城学」の難易度コードは「1」なので、この授業の難易度は1年次に修得が望まれる科目であることがわかります。																																			
④	教育 プログラム コード	当該授業を構成科目とする教育プログラムを示すコードです。教育プログラムコードの一覧は巻末（付録）を参照してください。「茨城学」の教育プログラムコードは「COE」なので、この授業は「地域志向教育プログラム」の構成科目であることがわかります。																																	

## 9. その他履修上の注意

- 1) 基盤教育科目において、一度単位を修得した同じ教員による同じ題目の授業を再度履修しても、単位は認められません。ただし、同じ教員による同じ授業科目であっても、授業題目が異なれば別の授業として単位が認められます。
- 2) 令和2年度以前に入学した学生がリベラルアーツ科目において開講される集中講義で修得した単位は、自由履修の単位に算入されます。ただし、「ライフデザイン」、「日本国憲法」の集中講義は除きます。自由履修の単位に算入されたものは、各科目区分の卒業に必要な単位には算入されないの  
で注意してください。
- 4) 病気その他の理由により授業の履修が困難な場合は、履修方法等についてスタディサポート室にご相談ください。
- 5) 授業の出席数が、その授業科目の総授業時間数の3分の2（「心と体の健康」のうち「身体活動」については4分の3）に達しない場合は、単位を与えられませんので注意してください。

## 4. 基盤教育科目クラス分け・ガイダンスについて

### ○プラクティカル・イングリッシュ

以下の日程に、教務情報ポータルシステムでクラス分けの発表を行います。

1年次生向け「Integrated English」（令和6年度入学生） 4月12日（金）

2年次生向け「Advanced English」（令和5年度以前入学生）4月10日（水）

3年次生向け「Advanced English」（令和4年度以前入学生）4月10日（水）

1) クラス分けを確認し、指定クラスの初回授業に出席してください。なお、クラス分けの結果は教務情報ポータルシステムに自動で登録されますので、学生自身が履修登録する必要はありません。

2) 後学期に履修するクラスは、原則前学期と同一教員のクラスを履修することになりますが、担当教員が異なる場合は、教務情報ポータルシステム及び掲示で後学期開始前に後学期に履修するクラスをお知らせしますので、掲示等に注意してください。なお、後学期のクラスについても、前学期同様に教務情報ポータルシステムに自動で登録されます。

3) 水戸地区開講のAdvanced English IIICは、対象となる学生（再履修者含む）に対し、希望調査を実施し、クラス分けを行います。希望調査の実施時期等詳細については、1月下旬に教務情報ポータルシステムでお知らせします。この希望調査は令和6年度で終了となります。

4) 再履修者向けには、レベルごとに集中講義で再履修用の授業が開講されます（p.18参照）。プラクティカル・イングリッシュの再履修は、集中講義あるいは翌年度の授業の再履修になります。再履修が必要な学生は、再履修用のクラスを確認し、該当するレベルの初回授業に出席してください。異なるレベルの授業を履修することは認められません。なお、再履修クラスの履修登録には申請が必要となります。教務情報ポータルシステムで案内される申請フォームから申請してください。

5) 集中講義の再履修は、前学期は7月下旬、後学期は1月下旬までに日程を教務情報ポータルシステムの掲示板でお知らせする予定です。当該学期の成績を確認し、単位を修得できなかった場合、再履修が必要となりますので、修得できなかったレベルの集中講義を履修してください。異なるレベルの授業を履修することは認められません。

6) 翌年度の再履修クラスを履修する場合、前年度に単位が認定されなかった科目を履修することになります。異なるレベルの授業を履修することは認められません。

なお、Integrated Englishについては、令和6年度入学生と令和5年度以前入学生とで科目名が異なるため、令和6年度入学生対象科目を読み替えて履修することになります。読替の対応表は以下のとおりです。

Integrated Englishの読替対応表

令和5年度以前入学生向け科目		令和6年度以降入学生向け科目
Integrated English IA, IIA, IIIA (2単位)	←→	Integrated English 1~3A (1単位) 及び、Integrated English 1~3B (1単位) 計2科目
Integrated English IB, IIB, IIIB (1単位)	←→	Integrated English 1~3C (1単位) 又は、 Integrated English 1~3D (1単位) いずれか1科目

時間割、教室等授業の詳細は、開講授業科目一覧（p.9～）を参照してください。

## ○心と体の健康

令和6年度は、以下の日程で全体ガイダンスを実施します。1年次及び2年次以上で「心と体の健康」（身体活動）の履修を希望する学生は、各地区で指定された日時に開催のガイダンスに必ず出席してください。なお、今年度のガイダンスは、オンラインで実施します。

- 1) ガイダンスは、前学期・後学期を問わず初回授業となりますので、必ず出席してください。
- 2) オンライン実施となるため、必ずPC等を準備してください。当日はTeamsにログインし、各自「心と体の健康ガイダンス」（農学部2年次対象は「身体活動」の初回授業）を指定の日時に出席し、受講してください。
- 3) 「心と体の健康」のうち、「身体活動」として履修する授業科目は、ガイダンス後に行われるクラス分け希望調査に基づき、コンピュータによる抽選の上、決定され、各自の教務情報ポータルシステムに反映されますので、学生自身が履修登録する必要はありません（後学期にクラス分けされた場合は教務情報ポータルシステムに反映されるのは後学期になります）。

※以下、ガイダンスの日程です。なお、ガイダンス受講にあたっては、「心と体の健康ガイダンス」（農学部2年次対象は「身体活動」）のTeamsにて、受講してください。

### 1年次対象ガイダンス日程

#### 【水戸地区】

オンラインで実施します。各自、所属学部学科の該当するチームコードでチームに参加し、指定の日時にTeamsで「心と体の健康ガイダンス」を受講してください。

ガイダンス日程	対象学部等	チームコード
4月11日(木)	10:35~12:20 人文社会科学部、地域未来共創学環	2i7a8ln
4月15日(月)	10:35~12:20 教育学部、工学部（機械）	8jz6pi7
4月16日(火)	10:35~12:20 工学部（電気、物質、情報、都市）	9xr8x9y
4月17日(水)	10:35~12:20 理学部、農学部	dwok7el

クラス分け希望調査（Webで実施）

人文社会科学部・地域未来共創学環：4月11日（木）～14日（日）発表：4月17日（水）

教育学部、工学部（機械）：4月15日（月）～17日（水）発表：4月19日（金）

工学部（電気、物質、情報、都市）：4月16日（火）～18日（木）発表：4月22日（月）

理学部、農学部：4月17日（水）～4月19日（金）発表：4月23日（火）

### 2年次対象ガイダンス日程

#### 【水戸地区】

オンラインで実施します。各自、所属学部の該当するチームコードでチームに参加し、指定の日時にTeamsで「心と体の健康ガイダンス」を受講してください。

ガイダンス日程	対象学部	チームコード
4月11日(木)	15:05~16:50 教育学部（Ⅱ）、理学部	c2do13g
4月15日(月)	15:05~16:50 人文社会科学部、教育学部（Ⅰ）	517gfbf

※教育学部（Ⅰ）：学校教育教員養成課程（理数教育系・保健体育教育系）以外の2年次生

※教育学部（Ⅱ）：学校教育教員養成課程（理数教育系・保健体育教育系）の2年次生

クラス分け希望調査（Webで実施）

教育学部（Ⅱ）、理学部：4月11日（木）～14日（日）発表：4月17日（水）

人文社会科学部、教育学部（Ⅰ）：4月15日（月）～17日（水）発表：4月19日（金）

### 【日立地区】

オンラインで実施します。各自、下記チームコードでチームに参加し、指定の日時にTeamsで「心と体の健康ガイダンス」を受講してください。

ガイダンス日程		対象学部	チームコード
4月11日(木)	17:00~18:45	工学部	bxu07eq

クラス分け希望調査 (Webで実施)

4月11日(木) ~ 4月14日(日) 発表: 4月17日(水)

### 【阿見地区】

オンラインで実施します。各自、下記チームコードでチームに参加し、指定の日時にTeamsで「身体活動」の初回授業を受講してください。

初回授業日程		対象学部	チームコード
4月11日(木)	15:05~16:50	農学部	aqlkw6w

クラス分けについては、阿見地区の指示に従ってください。

※再履修者で「心と体の健康」を履修する場合は、以下の点に注意してください。

- ・2年次が1年次の授業を再履修する場合は、所属学部学科対象の1年次向けガイダンスに出席してください。ガイダンスの出席には該当するチームコードでチームに参加する必要があります。
- ※工学部、農学部の2年次以上の学生が1年次の授業を再履修する場合は、水戸地区1年次向けではなく各所属キャンパスの2年次向けガイダンスに出席することもできます。
- ・3年次が再履修する場合は、対象にかかわらず、1年次向け、2年次向け、いずれかのガイダンスに出席してください(所属・学年等の指定はありません)。

## ○主体学修 (リベラルアーツ) 科目

リベラルアーツ科目については、初回授業時における混乱、またそれに伴う授業開始の遅延を避けるため、受講希望の授業をWebで事前に申告してもらい、学期開始前に抽選を行い、履修者を予め決定します。実施期間等は、以下の日程を予定しておりますが、正式な実施日程や実施方法の詳細については、教務情報ポータルシステムでお知らせします。フレックスコース対象科目の基盤教育科目については、事前申告の実施はありません。

### 【事前申告の実施方法】

実施方法: Webで実施します。

- ・前学期開講科目 (1年次以上対象)

4月初旬 (期間は約1週間) 実施、授業開始前までに結果発表

詳細については、3月下旬に教務情報ポータルシステムでお知らせします。

なお、上記の期間は翌年度前学期開講科目の事前申告の予定になります。

対象科目: ヒューマニティーズ、自然・環境と人間、プラスIプログラム科目

- ・後学期開講科目 (1年次以上対象)

第1次申告: 8月上旬 (期間は約1週間) 実施、8月下旬結果発表

第2次申告: 9月上旬 (期間は約1週間) 実施、9月下旬結果発表

詳細については、7月下旬に教務情報ポータルシステムでお知らせします。

対象科目: 多文化コミュニケーション、グローバル化と人間社会、プラスIプログラム科目

## 令和5年度以前入学生の大学共通教育科目の履修について

令和6年度から大学共通教育では、科目区分が変更となりました。この科目区分変更により、令和5年度以前入学生が基盤教育科目を履修する場合、基盤教育科目や学部専門科目を読み替えて履修するこ

とになります。以下に、それぞれの科目区分について、令和6年度の履修方法を説明しています。履修すべき科目区分の説明に従って授業を履修してください。このほかの履修上の注意や卒業要件等については、入学年度（1年次）に配付された「大学共通教育履修案内」に従ってください。

## ○入門科目について

- ・大学入門ゼミ：従前から変更がありませんので、再履修が必要な場合には、自身の所属学部の開講科目を履修してください。
- ・茨城学：再履修が必要な場合には、集中講義で開講される「茨城学」（2単位）を履修してください。令和6年度入学生向け「茨城学」（1単位）は単位数が異なるため、令和5年度以前入学生は履修できません。

## ○共通基礎科目について

・プラクティカル・イングリッシュ：4. プラクティカル・イングリッシュのクラス分け（p.4）に記載のとおりです。

・情報リテラシー：令和5年度までと科目区分に変更はありませんので、再履修が必要な場合には、自身の所属学部学科の開講科目を履修してください。

・科学の基礎：令和6年度入学生から科学の基礎は廃止となりました。読替や令和6年度に開講する科目等あるため、科目区分に応じて、以下に従い履修してください。

### 一般基礎（再履修）

科学の基礎のうち、人文社会科学部及び教育学部向け「一般基礎」は令和6年度以降、開講がありません。再履修を希望する学生向けには自然・環境と人間のうち、「一般基礎」に読み替えた科目がありますので、そちらを履修してください。読替科目の履修については、3月に履修希望調査を取り、希望調査に基づき、共通教育センターが履修登録を4月に行います。読替対応科目は、自然・環境と人間の科目の備考欄に「旧：科学入門」と記載された科目です。

### 理系基礎（再履修）：農学部向け

科学の基礎のうち、農学部向け「理系基礎」については、再履修者向け科目が集中講義として開講されます。開講科目については、令和5年度以前入学生向け開講科目を参照してください。

### 理系基礎（微積分学・力と運動）：工学部向け

科学の基礎のうち、工学部向け「微積分学」と「力と運動」は令和6年度以降、基盤教育科目としては開講されません。再履修が必要な学生は、工学部専門科目で開講される「微積分学」「力と運動」を基盤教育科目に読み替えた科目を履修してください。

### 科学と倫理

科学の基礎のうち、「科学と倫理」はクラス指定されているものがあります。工学部対象の「科学と倫理B」、農学部対象の「科学と倫理A」は、開講授業科目一覧で指定されている学科を参照し履修してください。理学部対象の「科学と倫理A」はクラス指定がありませんので、いずれかのクォーターで履修してください。ただし、各クォーターにおいて定員を超えた場合は、抽選を行います。その場合、地球環境科学コース地球科学技術者養成プログラム（JABEEプログラム）を履修する学生の履修が優先されます。

## ○リベラルアーツ科目について

・異文化コミュニケーション（初修外国語）：以下の指示に従い、履修してください。

・初修外国語入門：従前どおり開講されますので、履修を希望する場合は、多文化コミュニケーション／初修外国語入門を履修してください。

・ドイツ語基礎I、II（工学部フレックスコース対象）：

工学部フレックスコース向けドイツ語基礎は令和6年度まで開講されます。フレックスコースの学生でドイツ基礎の履修を希望する場合には、令和6年度中に履修してください。

・初修外国語I、II（人文社会科学部対象、再履修）：

令和5年度以前入学の人文社会科学部学生を対象に開講されていた初修外国語I、IIは令和6年度以降、基盤教育科目としては開講されません。再履修が必要な学生は人文社会科学部専門科目で開講される「第二外国語」を基盤教育科目「初修外国語I」または「初修外国語II」に読み替えて履修してください。

・異文化コミュニケーション（初修外国語以外）：

異文化コミュニケーション（初修外国語以外）の履修を希望する場合には、令和6年度入学生向け「共生とコミュニケーション」を履修してください。

・ヒューマニティーズ：令和5年度までと科目区分に変更はありませんので、令和6年度に開講される科目を履修してください。

・パフォーマンス&アート：多文化コミュニケーションで開講される「パフォーマンス&アート」を履修してください。

・自然・環境と人間：令和5年度までと科目区分に変更はありませんので、令和6年度に開講される科目を履修してください。

・グローバル化と人間社会：令和5年度までと科目区分に変更はありませんので、令和6年度に開講される科目を履修してください。

## ○全学共通プログラムの履修について（令和5年度以前入学生対象）

令和5年度以前入学生が全学共通プログラムを履修する場合には、令和6年度以降入学生向けに基盤教育科目として開講される「プラスIプログラム」の科目を履修してください。各プログラムの対応表は、次ページを参照してください。



# ○基盤教育に係る読替科目対応表（令和5年度以前入学生対象）

## 令和5年度以前入学生対象科目

### 入門科目

大学入門ゼミ	大学入門ゼミ
--------	--------

茨城学	茨城学
-----	-----

### 共通基礎科目

プラクティカル・イングリッシュ (PE)	Integrated English IA, II A, III A (2単位)
	Integrated English IB, II B, III B (1単位)

情報リテラシー	情報リテラシー
---------	---------

心と体の健康	身体活動
	健康の科学

科学の基礎	一般基礎（統計学入門、科学入門）【人社・教育】
	理系基礎（数学基礎、物理学基礎、化学基礎、生物学基礎）【理・農】
	理系基礎（微積分学、力と運動）【工】

### リベラルアーツ科目

多文化理解 ／異文化コミュニケーション (初修外国語)	〇〇語Ⅰ、Ⅱ
	〇〇語入門

多文化理解	異文化コミュニケーション/人間とコミュニケーション
	異文化コミュニケーション/多文化共生
	異文化コミュニケーション/コミュニケーションと芸術文化
	パフォーマンス&アート/スポーツ文化
	パフォーマンス&アート/音楽文化
	パフォーマンス&アート/美術文化
	パフォーマンス&アート/ダンス・演劇文化
	ヒューマンティーズ/思想・文学
ヒューマンティーズ/歴史・考古学	
ヒューマンティーズ/人間科学	
ヒューマンティーズ/メディア文化	

自然と社会の広がり	自然・環境と人間/物質と生命
	自然・環境と人間/技術と社会
	自然・環境と人間/環境と人間
	グローバル化と人間社会/法律・政治
	グローバル化と人間社会/経済・経営
	グローバル化と人間社会/公共社会
	グローバル化と人間社会/グローバル・スタディーズ
	グローバル化と人間社会/日本国憲法

### 全学共通プログラム

グローバル英語プログラム科目
----------------

日本語教育プログラム科目
--------------

地域志向教育プログラム科目
---------------

### 数理・データサイエンス・AI教育プログラム必修科目に係る読替

自然と社会の広がり	技術と社会「AIデータサイエンス入門」(1単位) + 環境と人間「地域・地球環境データで観る茨城の姿」(1単位)
-----------	---

## 令和6年度以降入学生対象科目

### 基盤学修（共通基礎／キャリア形成）

大学入門ゼミ
--------

(読替なし；別途、従前の2単位科目をオンデマンド開講)
-----------------------------

Integrated English 1~3A (1単位) 及び、Integrated English 1~3B (1単位) 計2科目 Integrated English 1~3C (1単位) 又は、Integrated English 1~3D (1単位) いずれか1科目
---

情報リテラシー
---------

身体活動
読替なし

リベラルアーツ；自然・環境と人間にて読替科目設定
読替なし；集中講義で開講
〈工学部専門科目〉

### 主体学修（リベラルアーツ）

〈人文社会科学部専門科目〉「第二外国語」
多文化コミュニケーション/初修外国語（〇〇語入門）

多文化コミュニケーション/共生とコミュニケーション
多文化コミュニケーション/パフォーマンス&アート
ヒューマンティーズ/思想・文学
ヒューマンティーズ/歴史・考古学
ヒューマンティーズ/人間科学
ヒューマンティーズ/メディア文化

自然・環境と人間/物質と生命
自然・環境と人間/技術と社会
自然・環境と人間/環境と人間
グローバル化と人間社会/法律・政治
グローバル化と人間社会/経済・経営
グローバル化と人間社会/公共社会
グローバル化と人間社会/グローバル・スタディーズ
グローバル化と人間社会/日本国憲法

### プラスIプログラム

グローバルコミュニケーションプログラム科目
-----------------------

日本語教員養成プログラム科目
----------------

地域志向教育プログラム科目
---------------